

平成 25 年度食品安全委員会運営計画（案）に対して、
日本生協連が提出したパブリックコメントとその回答

| 日本生協連の意見 | 回答 | 評価 |
|---|--|--|
| 1. 食品健康影響評価に関するガイドラインの作成を速やかに実施してください。 | 御指摘いただいた未策定のガイドラインの策定の重要性については認識しているところであり、現在、農薬、動物用医薬品、肥料・飼料等及び器具・容器包装の各専門調査会において、検討を進めているところです。現時点で、具体的な期限を設定することは困難ですが、可能な限り早急にガイドラインを策定します。 | 可能な限り早く策定する旨の回答があった。 |
| 2. 貴委員会が設立されてからの10年間の振り返りを行い、到達点と課題を明らかにして、今後の中長期の目標を定めてください。 | 平成 25 年度運営計画案の第 1（1）事業運営方針に記載しているとおり、「今後の 10 年を見据え、委員会の業務改善を進めていく」こととしています。10 周年記念事業を実施する中で、国内外の専門家の意見をいただく機会もあり、これらの意見も参考に、今後の委員会運営の在り方を考えていきたいと考えています。 | 「10 周年記念事業での専門家の意見等も参考に考えていきたい」としており、積極的とはいえないが、前向きに受け止められた。 |
| 3. 具体的で積極的なリスクコミュニケーションの計画に賛成します。さらに工夫を重ねて、取り組みを進めてください。 | 平成 25 年度食品安全委員会運営計画にき、より効果的なリスクコミュニケーションの実施に努めていきます。 | 努力する旨の意思表示があった。 |
| 4. リスク評価が行われていない指定添加物、既存添加物についての評価を行ってください。 | いただいた御意見も参考に来年度の「自ら評価」案件候補の選定の検討を進めていきたいと思いますが、来年度も「自ら評価」案件候補の募集を行いますので、募集要項に基づき、改めて応募いただきたいと思います。 | 今回提出した意見も参考に検討を進めるとのことだった。 |